

# 戦 評

大会名 第72回全日本バレーボール高等学校選手権大会岩手県予選会

男子決勝

会場名：盛岡タカヤアリーナ

主 審：田中 哲

副 審：多田 直樹

試合結果

不来方 3 {  $\begin{matrix} 28-26 \\ 25-15 \\ 25-20 \end{matrix}$  } 0 盛岡誠桜

戦 評

試合時間 1時間14分

---

第1セット、中盤まで不来方が先行するも、着実に点数を積み上げる盛岡誠桜が粘る展開となった。最後は、ブロックポイントで不来方が先取した。

---

第2セットは、不来方が3番・菊池を中心に要所でスパイクやブロックを決め、セットを連取した。

---

第3セット、盛岡誠桜は2番・今にボールを集め反撃する。中盤までは一進一退の攻防となったが、高さのあるサイド攻撃を中心に攻めた不来方が盛岡誠桜を下し、2年ぶり13回目の優勝を果たした。

---

---

---

---

---

戦評者：山根 寿

# 戦 評

大会名 第72回全日本バレーボール高等学校選手権大会岩手県予選会

女子決勝

会場名：盛岡タカヤアリーナ

主 審：畠山 沙由利

副 審：新沼 美穂

試合結果

盛岡誠桜 3 {  $\begin{matrix} 25-15 \\ 25-15 \\ 25-19 \end{matrix}$  } 0 一関第一

戦 評

試合時間 1時間12分

---

決勝は、初優勝を目指す一関第一と、6年連続の優勝を狙う盛岡誠桜の戦いとなった。

---

第1セット、盛岡誠桜は4番・奥村のキレのあるスパイクで得点を重ねる。対する一関第一は、3番・佐々木と4番・千葉の緩急を付けたスパイクで相手を翻弄するが、終始流れを渡さなかった盛岡誠桜が先取した。

---

第2セット、盛岡誠桜は7番・佐藤（椰）の粘りあるレシーブで攻撃を後押しすると、6番・佐山の高いブロックで相手攻撃を阻止し、セットを連取した。

---

第3セット、巻き返したい一関第一は、サイド攻撃を中心に奮闘し序盤リードするが、盛岡誠桜は安定した攻撃で得点を重ね、25回目の優勝を果たした。

---

---

戦評者：渡邊 琴美

岩手県バレーボール協会